



第6回 応用音声学国際シンポジウム

ISAPh 2026

International Symposium on Applied Phonetics

音声を通して、人と世界をつなぐ

2026年9月14日(月)~16日(水)

観啓大学 (広島市)



基調講演者



Bryan Gick
ブリティッシュ
コロンビア大学

What is Applied Phonetics?

音声・身体運動・コミュニケーションを繋ぐ最新研究



Jeff Mielke
ノースカロライナ
州立大学

Consonant Production Before and After Jaw Surgery

発話器官の変化は子音の発音にどう影響するのか



Douglas Pulleyblank
ブリティッシュ
コロンビア大学

Phonological Representations

形態と音声の制約と音韻表示、母音調和の類型的課題



峯松信明
東京大学

Training Ears and Tongues with AI

英語による授業と生成AI時代の英語発音教育



参加登録者特典

シンポジウム前特別講演



石井カルロス寿憲
理化学研究所
ガーディアンロボット
プロジェクト
(上級研究員)

2026年9月13日(日)

早稲田大学 (1時頃の予定)

Prosody, Voice Quality, and Nonverbal Expression in Dialogue: Analysis and Applications for Social Robots

日本音声学会100周年記念大会関連企画

ISAPh 2026参加者は追加料金なしで参加可能!

※参加の際はISAPh参加登録の証明をご提示ください。

スケジュール

(多少時間変更の可能性あり)

9月14日(月)

13:00 受付開始

14:00~17:00 ワークショップ

9月15日(火)

9:00~17:30 基調講演・口頭発表・ポスター発表

夕方 懇親会 (シェラトングランド広島ホテル)

9月16日(水)

9:00~17:30 基調講演・口頭発表・ポスター発表

WORKSHOP SPEAKERS



Julián Villegas (会津大学)
Analysis of Fundamental Frequency Trajectories Using Generalized Additive Models
一般化加法モデル使用の基本周波数軌跡の分析



MUSP (多言語超音波プロジェクト)
A Methodological Introduction to Ultrasound Research in Applied Phonetics
応用音声学の超音波研究の方法論的紹介



Donna Erickson (ハスキンス研究所)
Jaw Dancing with MARRYS: Hands-on Recording of L1-L2 Jaw Differences Using MARRYS Helmet
MARRYS
ヘルメットを使用したL1とL2の顎の動態の計測

お申し込み方法

参加をご希望の方は、下の二次元コード (Peatix) よりお申し込みください。



早期申し込み
割引価格
6月14日(日)まで!

申込締切
2026年8月30日(日)
23:59 (日本時間)

<https://peatix.com/event/5028954>

お問い合わせ先

応用音声学国際シンポジウム (ISAPh 2026) 運営チーム

✉ isaph2026@gmail.com

